

# 保健室からこんにちは

## 香川医科大学保健管理室からの出発

香川大学保健管理センター医学部分室

文：泉慈子，写真：熊野智子



香川大学は、本部，医学部，工学部，農学部の4キャンパスが10Km圏内に点在した分散キャンパスです。そのため保健管理センターも本部キャンパスに本部が，その他の3キャンパスには分室が設けられています。

それでは，私が勤務している香川大学保健管理センター医学部分室について紹介します。

香川大学保健管理センター医学部分室は，平成11年4月1日に香川医科大学の学内措置として開設された保健管理室から出発した施設です。私はその施設において，学生の心身両面にわたる健康の保持，増進を図る業務を担う保健師として採用されました。辞令を頂いた後，学生課の方に開校20年目にして初めて造られたという保健管理室に案内されました。

保健管理室は，学生が利用しやすいようにということで，学生課の正面に位置していましたが，入り口は真っ黒な鉄の扉で閉じられており，まるで『倉庫』と見まがうような佇まいでした。少し驚きましたが，『きっと部屋の中は保健室らしいのだろう』という甘い期待をもって扉を開けました。ギギーっという大きな音とともに扉が開くと，少しカビ臭さの残った部屋が現れました。部屋の中は衝立で2つに仕切られており，一方に不要品とおぼしき物が積み上げられ，そしてもう一方に休養ベッドが2台，薬品戸棚が2つ，そして専任教官と私の机がそれぞれ1台置かれていました。

部屋に入るや否や，学生課の方は「年内に建てられる新しい保健室の設計にも携わって下さい。」と言い残し，私を置いて重い扉の向こうに消えて行きました。途方に暮れつつ自分の机に目をやると，花瓶に花が飾られていました。無

彩色で倉庫のような部屋の中で、その花の赤い色だけがやかに鮮やかに見えました。その瞬間、理由もなく私の中に「ここで頑張ろう！！」という想いが湧いてきました。



翌日から巻き尺を片手に、方眼用紙に保健室の図面を何度も書き、それを基に連日遅くまで施設の方との会議を行いました。設計に関しては全くの素人である保健師が、悪戦苦闘している姿に同情したのでしょうか、当初の予定の倍の面積（約 150m<sup>2</sup>）をいただくことができました。持ち前のなるようになるという脳天気さと、周囲の人に支えられ、同年 10 月には、半年前の部屋からは想像もできない立派な施設が完成しました。

翌、平成 12 年 4 月 1 日、「保健管理センター」として正式に認可され、名称も香川医科大学保健管理センターに改名されました。これと同時に基本業務に職員の心身両面にわたる健康の保持、増進が含まれることになりました。

3 年後の平成 15 年 10 月 1 日、香川医科大学と香川大学が統合し、「香川医科大学保健管理センター」は、「香川大学保健管理センター医学部分室」として、従来の活動を継続することになりました。

翌、平成 16 年 4 月 1 日、独立行政法人制度への移行に伴い、従来の学校保健法のみではなく、労働安全衛生法をも視野に入れた取り組みが始まりました。

2 年後の平成 18 年 4 月 1 日、医学部分室のメンタルヘルス対策業務を拡張するために、週 2 回（2 時間）、臨床心理士によるこころの相談が行われるようになりました。

7 年後の平成 25 年 4 月 1 日、保健管理室の開設時から専任教官として活躍された久郷敏明先生（精神医学）の退職により、新たな専任教官として永尾幸先生（内科学）が就任しました。

新体制となった医学部分室は、さらなる業務の充実を図るためにスタッフを増員しました。その結果現在では、専任教官 1 名、保健師 2 名（常勤 1 名、非常勤 1 名）、臨床心理士 4 名（本部常駐 2 名、非常勤 2 名）の計 7 名が学生と職員の健康管理に携わっています。

以上が香川大学保健管理センター医学部分室の 17 年間のあゆみです。それでは、今から写真による施設案内をしますのでゆっくりとご覧下さい。



## 玄関

左手が学務室の入り口で、右手が保健管理センター医学部分室の入り口です。  
学務室に用事のある学生も、待ち時間に医学部分室に立ち寄っていきます。



## 計測コーナー(血圧・体脂肪)

玄関を入ると右手に血圧計と体脂肪計を置いています。  
自由に測定することができますので、多数の方が様々な目的で活用しています。



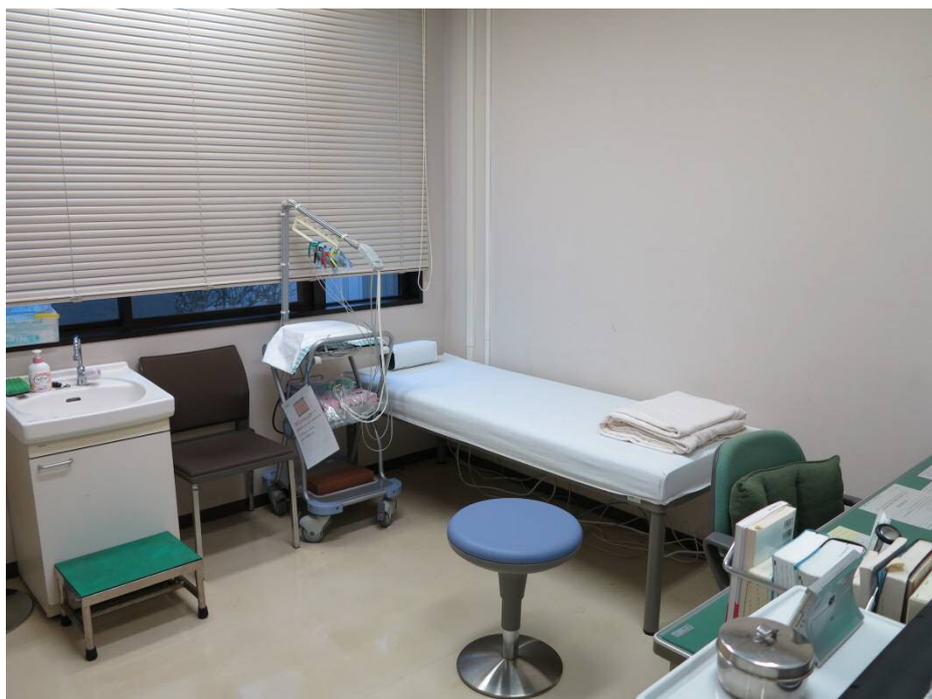
## 受付・事務室

医学部分室の利用者は、所定の用紙に来室目的を記載します。保健師はその内容に応じて問診を行い、診察・休養・応急処置などの対応をとります。



## 診察室

薬品庫には、西洋薬の他に約30種類の漢方薬を常備し、専任医師が状況に応じて使い分けながら診察しています。



## 休養室

休養室は保健師のすぐ横にあり，2台のベッドを置いています  
学生の寝息が聞こえる至近距離なので，緊急時には素早い対応ができます。



## 相談室

週5回，昼休みの時間帯に臨床心理士がこころの相談を行っています。



## 会議室

通常は、会議に使いますが、ワクチン接種や健康診断時には、会場として利用します。



## あとがき

今回、香川大学保健管理センター医学部分室の紹介文を書くにあたり、その前身である香川医科大学保健管理センターの第1号の年報（平成13年10月に発行）に掲載した自分の寄稿文を読み返してみました。そこには『保健管理センターという種は播かれたばかりです。数年後にすてきな花を咲かせるために……』という文章と、女の子が花壇に水を撒いている挿絵がありました。あれから17年、保健管理室という種は、周囲の人に支えられ双葉（子葉）を出し、本葉（葉）を出し、たくさんの青々とした葉を茂らせ、疲れた人が休める場所となっています。

私もあと6年で定年の時を迎えます。その時に満開の花を咲かせ、次の世代に繋ぐ実を实らせられるように日々精進していこうと思っております。

